

更新・存置必須設備等仕様書

1 更新必須設備

次の設備については必ず更新対象とする。同じ設備である必要はないが、従来と同等の機能を維持すること。

設備区分	項目	台数	備考
熱源設備	吸収式温水器 (RB-1、-2)	2	型番：0LB-80H 冷暖房能力：(冷) 283 kW (暖) 322 kW 灯油消費量：(冷) 26.2 L/h (暖) 35.1 L/h
給排水設備	冷温水一次ポンプ (PCH-1、-2)	2	型番：SJ4-80*65H63.7
	冷温水二次ポンプ (PCH-3～-6)	4	型番：SJ4-65*50H65.5
	冷却水ポンプ (PCD-1、-2)	2	型番：SJ4-80*65J611
	冷却水ポンプ (PCD-3、-4、-5)	3	型番：SJ4-65*50H65.5
中央監視・自動制御設備	中央監視装置	1 式	
	リモートステーション	1 式	
照明設備	外灯及び非常照明器具を含む施設内の全照明、誘導灯の LED 化	1 式	器具の耐用年数を考慮したうえで、蛍光灯のみを交換する場合は、照明設備の安定器に接続された電線及び安定器を撤去すること

2 希望設備

次の設備については、提案のある場合は加点要素とする。

(1) 太陽光発電パネル

発電容量及び設置場所等も含めて、提案による。蓄電池についての提案も可とする。

3 存置必須設備

次の設備については、必ず存置対象とし、利用計画を提案すること。

(1) 密閉式冷却塔 (CT-2、型番 KMB-125S) 屋上南側に設置されているもの。

詳細は別紙参照のこと。

4 ESCO 提案に関する留意事項

(1) 既存機器の撤去・処分費用は、原則として工事費に含めること。空調の配管等、撤去が困難又は撤去することにより施設運営に著しく支障をきたすと判断されるものについては、存置することも可とする。その場合、理由を明らかにすること。

(2) その他詳細条件については、募集要項 7 (5) 「③ 留意事項」を確認のこと。

新設機器一覧表

図示記号	機器名称	型式・仕様	電気容量	台数	品番	設置場所	備考
CT-2	密閉式冷却塔	型式 超低騒音型 温度条件(W.B) 37.5° ~32° (27)° C 循環水量 1,400 L/min 冷却能力 537.2 kW 送風機 1,800φ ×1 電動機 5.5kW×1 散水ポンプ 1.5kW	5.5kW+1.5kW	1	KMB-125S (空研工業製)	屋外	重耐塩仕様 耐震:2.0G 防振装置

凡例

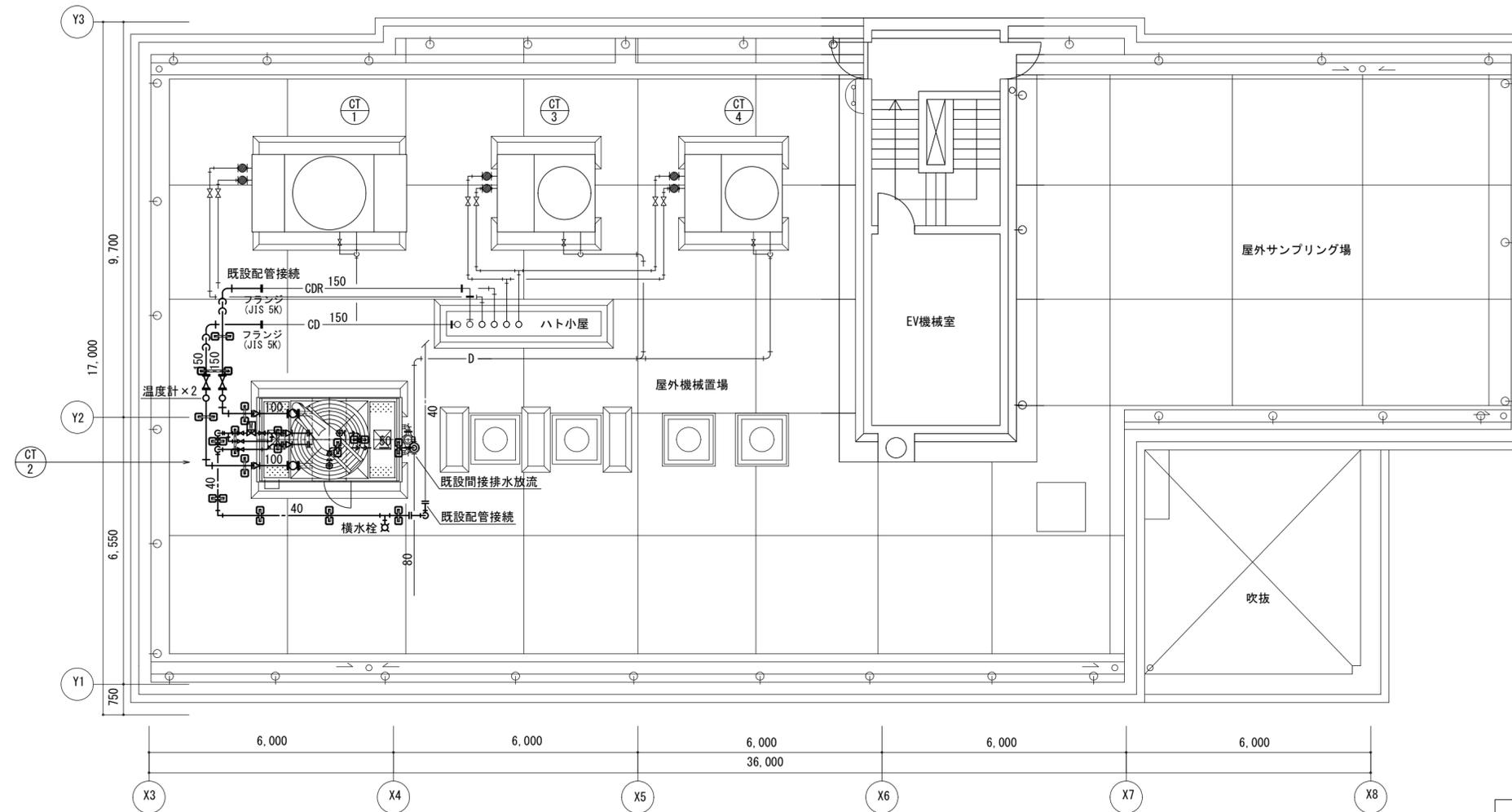
記号	名称	配管材料
— GD —	冷却水管 (送り)	硬質塩ビライニング鋼管 (SGP-FVA) 特記なき場合は フランジ (JIS10K)
— CDR —	冷却水管 (還り)	硬質塩ビライニング鋼管 (SGP-FVA) 特記なき場合は フランジ (JIS10K)
— — —	補給水管	硬質塩ビライニング鋼管 (SGP-VA)
— D —	ドレン管	配管用炭素鋼管 (SGP (白))
— II —	既設配管に接続位置を示す。	

記	事	(竣工図)	工事名称	環境保健研究センター冷却塔改修工事	図面番号	M-4/12	工期	令和 3年11月18日 ~ 令和 4年 3月18日	施工業者名	 新英工業株式会社
			図面名称	機器表	縮尺		現場代理人	荒井賢	主任技術者	荒井賢



凡 例

記号	名称	配管材料	
— CD —	冷却水管（送り）	硬質塩ライニング鋼管（SGP-FVA）	特記なき場合は フランジ（JIS10K）
— CDR —	冷却水管（還り）	硬質塩ライニング鋼管（SGP-FVA）	特記なき場合は フランジ（JIS10K）
— - —	補給水管	硬質塩ライニング鋼管（SGP-VA）	
— D —	ドレン管	配管用炭素鋼鋼管（SGP（白））	
— —	既設配管に接続位置を示す。		



R階 平面図 S=1/100

BV 150A	JIS:10K	ナイロンライニング	2
FJ 100A	球型	合成ゴム型	2
BAV 50A	JIS:10K	青銅製	1
BAV 40A	JIS:10K	青銅製 コア付	4
横水栓	LF-7R-13	(LIXIL製)	1
電動二方ボール弁	40A		1
温度計	0°C~100°C		2

記 事	竣工図	工事名称	環境保健研究センター冷却塔改修工事	図面番号	M-5/12	工期	令和 3年11月18日 ～ 令和 4年 3月18日	施工業者名	新英工業株式会社	
		図面名称	冷却塔配管改修 平面図	縮尺	1/100	現場代理人	荒井賢	主任技術者	荒井賢	